



令和3年4月20日(火) 第3号



流されず、自分の歩幅で



中学校生活も2週目に入りました。学年全体を見れば、確かに慌ただしい場面はたくさんありますが、おおむね楽しそうに過ごしているように思います。しかし、1人ひとりを見た場合はどうでしょう？ 実は、心や体が疲れている人や、人間関係に悩み始めている人がいるのではないのでしょうか？ 今回の学年だよりでは、先生たちがひそかに心配していることをいくつか挙げてみようと思います。



① 新しい友だちをつくることに焦^{あせ}ってしまう。

中学校に入学してくるとき、誰もが「新しい友だちができるかな？」と心配していたのではないかと思います。初めは同じ小学校の友だちと話すだけだった関係が、少しずつ新しい人と知り合って、2週目に入ってくると、新しい友だちを増やせる時期になっています。でも、その一方では「新しい友だちができない」、「自分は大丈夫かな」などと不安に思っている人がいるのも事実です。人と人が知り合っていく時間には個人差があります。一気に距離を縮めて仲良くなれる人もいますが、ゆっくり&じっくりでないと知り合えない人もいます。友だちは多ければよいというものでもありません。だから、焦る必要はありません。決して無理をせず、自分の歩幅で歩きましょう。

② 学校生活に慣^なれる一方で、雑^{ざつ}になってくる。

とにかく緊張していた1週目とは違って、少しずつ学校生活の様子もわかってきて、楽しいことも増えてくる時期です。楽しい時間が増えるのはいいことですが、人間というのは、その環境に慣れてくると、細かいことを「どうでもいいや」などと軽く考えてしまいがちです。学校生活でいうと、たとえば、授業の準備であるとか、服装や身だしなみであるとか、「ちょっとぐらいなら大丈夫だろう」などと自分勝手に考えてしまうようなものです。やはり、初心を忘れるのは恐ろしいことです。

③ 緊張の糸が緩^{ゆる}んで体調を崩してしまう。

先週の中ごろから、体調不良で欠席する人が少しずつ出ています。新しい環境に身を置くと、私たちは誰もが「緊張感」を感じています。緊張している最中は案外疲れを感じることがないのですが、環境に慣れてきて緊張の糸が緩んでくると、それまでたまっていた疲れが一気に押し寄せてきて、体が悲鳴をあげるように「頭痛」、「腹痛」、「発熱」という症状が出てきます。体調管理の基本は2つ、**【食べること】**と**【寝ること】**です。この2つをおろそかにしないようにしてください。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



基本は【ことば】です



新しい人と出会うとき、その人との距離を決定する道具は【言葉】です。新しい環境に身を置き、新生活を始めるときも、自分を支えるものは、やはり【言葉】です。私たちが使う言葉には**【つなぐ言葉】**と**【切る言葉】**があります。次はそういった“言葉”について話をしましょう。

たとえば、「おはよう」・「ありがとう」などのあいさつや、「大丈夫？」・「どうしたん？」など、相手を思いやる言葉が**【つなぐ言葉】**の代表です。言い換えれば、**【相手との関係をつなぐ言葉】**です。誰だって自分に**【つなぐ言葉】**を投げかけてくれた相手とは「仲良くしたいなあ」と思うでしょう。一方、人の悪口や、誰かを不愉快にさせる言葉が**【切る言葉】**、つまり**【相手との関係を切る言葉】**です。たとえ自分でなくても、誰かの悪口を言っている人を見たら、「この人には気をつけよう」と思います。つまり、その人とのつながり・関係が切れるワケです。

先生に対する言葉づかいも大切ですが、同級生に対する言葉づかいは意識できていますか？ たとえ同級生でも、最低限のマナーは守るべきです。新しい環境で、新しい人たちと出会う今だからこそ、**【切る言葉】**には気を付けて、いつも以上に**【つなぐ言葉】**を大切にしてほしいものです。



☆教育相談をおこないます☆

2週目に入った中学校生活ではありますが、今も話したように、1人ひとりを見つめれば、心や体が疲れている人もいるように思います。先生たちの方では、入学以来、キミたち1人ひとりとゆっくり話すことができていないのが気になっています。そこで、今週から**《教育相談》**を始めています。教育相談というのは、担任の先生がキミたち生徒と2人でおこなう“二者面談”です。



毎日の生活を送るうえでの不安や心配、たとえば勉強に関する不安や心配・友だち関係に関する悩み・家庭でのことに関する悩みなど、どんなことでも話せるのが**《教育相談》**です。「教育相談」といえば大げさに思われそうですが、別に「教育」に関する話題でなくても、「相談」でなくてもOKです。もちろん、この期間に限らず、先生たちにはいつでも相談してくれていいのですが、自分から相談できる人ばかりではないですからね。この教育相談を**ひとつのきっかけ**として、先生たちに話を聞かせてください。担任の先生とキミたちと、**1対1**でおこないますが、放課後を中心に必ず全員とおこないます。「^{あらた}改めて先生と話すことなんてないよ」、「なんだかちょっと気まずいかも…」と思う人、とりあえず**気軽に**おしゃべりするぐらいの気持ちで教室に来てください。

保護者のみなさまへ

家庭訪問は中止になりましたが、生徒との二者懇談である「教育相談」は実施します。生徒たちには、2週目に入った中学校生活の中で、嬉しいことや楽しいことだけでなく、嫌なこと・しんどいこと・悩みや心配など、マイナス面も安心して話してもらいたいと思っています。ご家庭でもぜひ話題にしたいと思っています。また、保護者のみなさまにしても、何か気になることがございましたら、いつでも学校(担任)までご連絡をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆